

紹介受診重点医療機関の選定について

当医療圏における紹介受診重点医療機関をとりまとめるため、
その適否について御協議をお願いします。

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号：043-223-2457 メール：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

1 令和7年度外来機能報告

(1) 外来機能報告

医療法第30条の18の2及び第30条の18の3の規定に基づき、外来医療の実施状況などを都道府県知事へ報告するもの。

ア 目的

- ・ 紹介受診重点医療機関の明確化
 - ・ 地域の外来機能の明確化及び連携の推進
- ⇒ 患者の流れがより円滑になることで、外来患者の待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減に繋がり、ひいては医師の働き方改革の推進にも寄与する。

イ 報告対象施設（一般・療養病床を有する施設。〈〉内は対象施設数）

- ① 病院〈256〉、② 有床診療所〈116〉、③ 無床診療所〈希望する施設のみ。R7は1施設が希望〉

ウ 報告事項

- ・ 医療資源を重点的に活用する外来医療（紹介受診重点外来）の実施状況
- ・ 紹介受診重点医療機関としての役割を担う意向の有無 等

(2) 令和7年度報告の報告状況

ア 報告期間 令和7年10月1日から令和8年1月31日まで ※ 令和8年1月31日まで督促実施

イ 回収率 98.66%（千葉県全体の回収率。368施設／373施設）

ウ 結果の公表 国からの公表用データの受領後、準備ができ次第県ホームページで公表

2 紹介受診重点医療機関

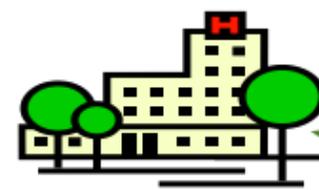
(1) 紹介受診重点医療機関

外来機能報告を踏まえ、地域の協議の場において協議を行い、医療資源を重点的に活用する外来（紹介受診重点外来）を地域で基幹的に担う医療機関として、都道府県が公表した医療機関。

かかりつけ医機能を担う医療機関



紹介受診重点医療機関



病院の外来患者の待ち時間の短縮、勤務医の外来負担の軽減、医師働き方改革

外来機能報告、「地域の協議の場」での協議、紹介患者への外来を基本とする医療機関の明確化

【抜粋】令和4年3月17日
外来機能報告等に関するWG参考資料

(参考) 紹介受診重点医療機関に対する主な診療報酬上の措置等

- ・ 紹介受診重点医療機関入院診療加算（入院初日）（紹介受診重点医療機関のうち一般病床200床以上の病院）
800点 ※ 地域医療支援病院入院診療加算との併算定不可
- ・ 連携強化診療情報提供料（患者1人につき月1回に限り算定）
150点
- ・ 紹介状なしで受診する場合等の定額負担（紹介受診重点医療機関のうち一般病床200床以上の病院）
初診：医科 7,000円以上／歯科 5,000円以上、再診：医科 3,000円以上／歯科 1,900円以上

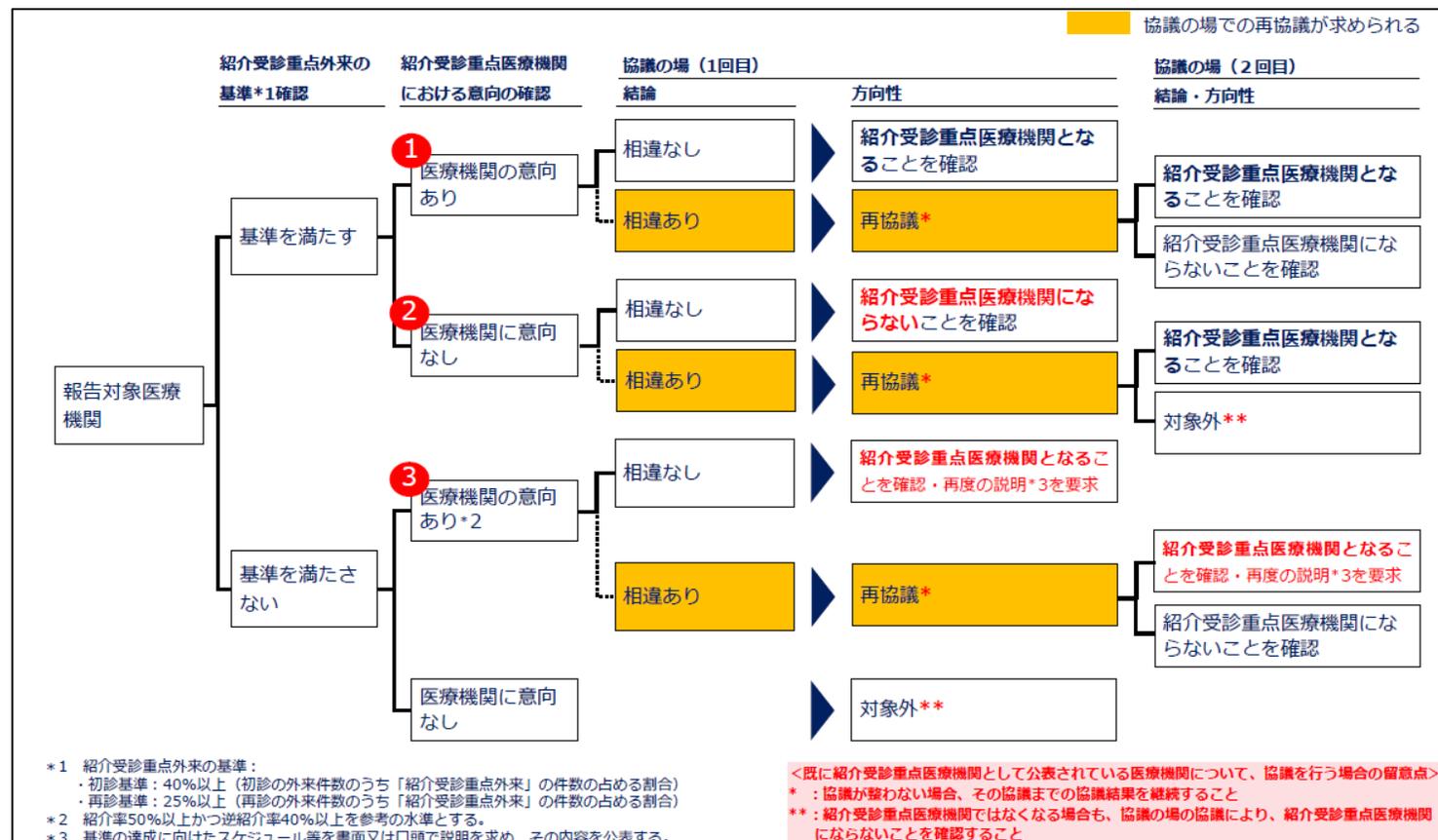
(2) 紹介受診重点医療機関の協議・公表

ア 「外来機能報告等に関するガイドライン」で示された手順（要旨）

		意向あり	意向なし
紹介受診重点外来の基準	満たす	① 「外来医療に係る協議の場」で 確認	② 「外来医療に係る協議の場」で 協議
	満たさない	③ 「外来医療に係る協議の場」で 協議	④ 紹介受診重点医療機関でなくなる場合は「外来医療に係る協議の場」で 確認

◇厚生労働省が示す公表までのプロセス

右記のプロセスを経て、協議が整った医療機関について、県ホームページで公表する。
基準等については次ページを参照。



イ 「外来機能報告等に関するガイドライン」で示されている基準等

(ア) 基準

紹介
受診
重点
外来

- ① 医療資源を重点的に活用する入院前後の外来
例_悪性腫瘍手術の前後30日間の外来
- ② 高額な医療機器等を必要とする外来
例_外来化学療法、外来放射線治療
- ③ 特定の領域に特化した機能を有する外来
例_紹介患者に対する外来

初診の外来件数の40%以上
かつ
再診の外来件数の25%以上

(イ) 重点医療機関となる意向はあるが基準を満たさない場合に参考とする水準（参考水準）

紹介率50%以上 かつ 逆紹介率40%以上

★このほか、基準を満たす蓋然性や基準を満たすまでのスケジュールについても説明を要する

(参考) 紹介率・逆紹介率の計算方法

○紹介率：紹介患者数 ÷ 紹介率のための初診患者数^{*} × 100

○逆紹介率：逆紹介患者数 ÷ 紹介率のための初診患者数^{*} × 100

(※) 紹介率のための初診患者数とは

初診患者数から、以下の3項目を除いた数のこと。

- ・ 救急搬送者
- ・ 休日又は夜間に受診した患者
- ・ 自院の健康診断で疾患が発見された患者

ウ 外来医療に係る協議の場（医療法第30条の18の5）

本県においては、地域医療構想調整会議を活用する。

エ 公表の方法

「都道府県における今後の外来機能報告制度の運用等について」（R5.3.6付け 地域医療計画課長通知）

- ・ 県は、紹介受診重点医療機関が確定した際は、速やかに、国及び当該医療機関に、当該紹介受診重点医療機関名、公表日、公表場所等を通知等により情報共有する。
- ・ 紹介受診重点医療機関のリストは、1日付けで県ホームページ等で公表する。

◆紹介受診重点医療機関リスト

都道府県番号	都道府県名	医療機関名称	医療機関住所	電話番号	公表日	廃止日	保険医療機関コード	一般病床数 200床以上*	備考
99	●●県	●●●法人 ●●●病院	●●県●●市●●1-2-3	xxx-xxx-xxxx	令和6年4月1日		011000000	○	
99	●●県	●●診療所	●●県●●市●●1-2-3	xxx-xxx-xxxx	令和6年4月1日		011000000		
99	●●県	●●会●●病院	●●県●●市●●1-2-3	xxx-xxx-xxxx	令和6年4月1日	令和7年4月1日	011000000	○	
99	●●県	●●県立●●病院	●●県●●市●●1-2-3	xxx-xxx-xxxx	令和6年4月1日	令和7年2月1日	011000000		
99	●●県	●●病院	●●県●●市●●1-2-3	xxx-xxx-xxxx	令和7年4月1日		011000000	○	

(3) 千葉県における紹介受診重点医療機関のとりまとめの考え方

	意向あり	意向なし
基準を満たす	①【東葛南部医療圏では7施設が該当】 ・ 特に異論が出ない限り、 <u>重点医療機関になる</u> ことで協議が整ったものと扱う	②【東葛南部医療圏では3施設が該当】 ・ 基準を満たす施設については、意向を示さない理由を説明していただく ・ 「医療機関の意向を第一」とし、特に異論が出ない限り、 <u>重点医療機関にならない</u> ことで協議が整ったものと扱う
基準を満たさない	③【東葛南部医療圏では2施設が該当】 ・ 参考水準を活用しつつ、重点医療機関の役割を担うことがふさわしいと考える根拠や今後基準を満たす蓋然性、それに至るスケジュール等を説明していただいた上で協議する	④【東葛南部医療圏では6.5施設が該当】 ・ 特に協議は行わない（ <u>重点医療機関ではなくなる医療機関</u> について確認） ※この他、未報告施設についても協議は行わない（ <u>重点医療機関にならない</u> ）

⇒ 紹介受診重点医療機関のリストは、令和8年4月1日に千葉県ホームページで公表予定。

協議いただきたい事項

意向を示した医療機関を紹介受診重点医療機関とすることについて、地域の外来機能の明確化・連携を促進する観点から御協議いただきたい。

(4) 紹介受診重点医療機関候補及び協議の対象となる医療機関一覧

No.	医療機関名	基準 ^{※1}		参考水準 ^{※2}		一般病床数 (床)	備考
		「初診」のうち、 重点外来の割合 (%)	「再診」のうち、 重点外来の割合 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)		
①基準を満たし、紹介受診重点医療機関となる意向あり							
1	東京歯科大学市川総合病院	71.2	25.8	96.7	86.4	511	地域医療支援病院
2	船橋市立医療センター	71.2	31.6	75	113.9	449	地域医療支援病院
3	社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院	65.9	25	76.7	101.3	400	地域医療支援病院
4	東京女子医科大学附属八千代医療センター	46.7	26.4	59.4	46.1	500	地域医療支援病院
5	東京ベイ・浦安市川医療センター	58.3	31.8	77.4	105.3	340	地域医療支援病院
6	医療法人徳洲会千葉徳洲会病院	47.1	32.9	34.6	41.3	447	
7	順天堂大学医学部附属浦安病院	68.1	25.7	77.6	100.2	785	地域医療支援病院
②基準を満たし、紹介受診重点医療機関となる意向なし							
8	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院	42.6	32.1	27.3	27.2	314	
9	医療法人財団明理会行徳総合病院	41.7	28.6	36.7	16.9	307	
10	医療法人社団瑞鶴会鶴木クリニック 医科・歯科	94.7	27.7	95.7	0	6	
③基準を満たさないが、紹介受診重点医療機関となる意向あり							
11	国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター	60.4	14.3	67.2	94.8	277	地域医療支援病院
12	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院	36.1	19.6	51.2	79.2	356	地域医療支援病院
④基準を満たさず、紹介受診重点医療機関となる意向のない医療機関のうち、現時点では紹介受診重点医療機関である							
13	医療法人社団陽南会くらもちレディースクリニック	44.7	24.6	0	0	18	

※1 初診の外来件数の40%以上、かつ、再診の外来件数の25%以上

※2 紹介率50%以上、かつ、逆紹介率40%以上

: 基準（参考水準）を上回る場合

※3 紹介率・逆紹介率について

〈計算方法〉

○紹介率：紹介患者数÷紹介率のための初診患者数◆×100 ○逆紹介率：逆紹介患者数÷紹介率のための初診患者数◆×100

◆紹介率のための初診患者数とは、初診患者数から、以下の3項目を除いた数のこと。

- ・ 救急搬送者 ・ 休日又は夜間に受診した患者 ・ 自院の健康診断で疾患が発見された患者

区分：基準○、意向×

紹介受診重点医療機関に係る意向調査票

1 基本情報

医療機関名	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院
所在地	習志野市谷津1-9-17

2 紹介受診重点医療機関とならない理由

令和7年度の報告値において、医療資源を重点的に活用する外来（紹介受診重点外来）の割合が初診42.6%、再診32.1%と基準を満たしておりますが、継続的な基準達成を目指したいため経過を注視していきたいと考えております。

(参考：貴院からの令和7年度報告値)

区分	医療資源を重点的に活用する外来 (紹介受診重点外来)の割合		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	42.6%	32.1%	27.3%	27.2%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来※	620日 / 26,625日	8,175日 / 123,928日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	9,235日 / 26,625日	32,314日 / 123,928日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	5,601日 / 26,625日	2,581日 / 123,928日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考基準

※「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」のうち、複数の外来を受診しており、且つ受診日が異なる場合は、重複して計上している。

区分：基準○、意向×

紹介受診重点医療機関に係る意向調査票

1 基本情報

医療機関名	医療法人財団明理会行徳総合病院
所在地	市川市本行徳5525-2

2 紹介受診重点医療機関とならない理由

今回、基準は満たしておりますが、当院として紹介受診重点医療機関の意向は辞退させていただきます。理由としましては、以下でございます。

当院は許可病床数307床の地域に密着した二次救急医療機関として、東葛南部医療圏（市川・浦安・船橋エリア中心）で長きに渡り診療を展開してきました。その際、選定療養費を現在の¥3,300から¥7,000に増額することで、地域の患者様が当院に受診する上での敷居が高くなってしまい、受診控えに繋がってしまうことが懸念されます。引き続き地域に密着した医療を展開していく上で、選定療養費の大きな金額負担は避けたいと考えます。

しかしながら、今後の診療機能体制（病診連携）を促進していくにあたり、将来的に紹介受診重点医療機関として確立していかなければならないことも理解しておりますが、今の状況では時期尚早と判断しました。

現在の当院の診療機能体制と選定療養費を理由に見送りさせていただきますので、宜しくお願い致します。

(参考：貴院からの令和7年度報告値)

区分	医療資源を重点的に活用する外来 (紹介受診重点外来)の割合		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	41.7%	28.6%	36.7%	16.9%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来※	485日 / 19,755日	7,906日 / 101,683日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	6,279日 / 19,755日	22,591日 / 101,683日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	3,715日 / 19,755日	1,851日 / 101,683日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考基準

※「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」のうち、複数の外来を受診しており、且つ受診日が異なる場合は、重複して計上している。

区分：基準○、意向×

紹介受診重点医療機関に係る意向調査票

1 基本情報

医療機関名	医療法人社団瑞鶴会鶴木クリニック医科・歯科
所在地	市川市八幡1-19-13

2 紹介受診重点医療機関とならない理由

当クリニックは令和7年度報告において、紹介率（95.7%）および紹介受診重点外来の割合（初診94.7%）が基準値を大きく上回っており、専門外来としての役割を担っていると考えております。

しかしながら、当クリニックの診療特性（顎変形症の外科的治療）により、継続的な専門的治療や長期の観察を要する患者様が多く、他の医療機関さまへの逆紹介（受診の完結）は困難な状況にあります。現時点の逆紹介率（0.0%）とガイドラインが求める基準（40%以上）には乖離があり、この数値を安定的に充足することは現時点では困難と判断し、選定は希望いたしません。

紹介受診重点医療機関としての選定は辞退させていただきますが、地域医療への貢献には強く賛同しております。今後も地域の医療機関さまとの連携を継続し、当クリニックとして支援できる役割には積極的に協力したいと考えております。

(参考：貴院からの令和7年度報告値)

区分	医療資源を重点的に活用する外来 (紹介受診重点外来)の割合		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	94.7%	27.7%	95.7%	0.0%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来※	68日 / 94日	88日 / 350日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	89日 / 94日	9日 / 350日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	86日 / 94日	10日 / 350日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考基準

※「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」のうち、複数の外来を受診しており、且つ受診日が異なる場合は、重複して計上している。

区分：基準×、意向○

紹介受診重点医療機関に係る意向調査票

1 基本情報

医療機関名	国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター
所在地	千葉県市川市国府台1-7-1

2 紹介受診重点外来に関する基準を満たす蓋然性等

(1) 今後基準を満たす蓋然性

※報告では基準を満たしていないものの、今後満たす見込みや理由について御記載ください。

- ・医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来については、令和5年度より入院支援センターを開設し、主に消化器内科、外科の患者を対象に行っている。
- ・高額等の医療機関・設備を必要とする外来については、外来化学療法加算、外来腫瘍化学療法診療料をそれぞれ年間400件程度算定しているが、引き続き件数が増加するよう積極的に該当患者の受け入れを行っていく。
- ・特定の領域に特化した機能を有する外来については、現時点で当院逆紹介後に30日以内に受診するような認識が希薄のため、医師向けの会議等で周知することによって増加が期待される。
- ・紹介受診重点医療機関に必要な急性期の患者の受け入れを救急科中心に増加していく。

(2) 基準を満たすことが予想される時期やスケジュール（見込）

※基準を満たすことが見込まれる時期やそのための取り組みやスケジュールについて御記載ください。

- ・基準達成見込み時期 2025年～2027年度内
- ・紹介受診重点医療機関の要件を満たすように各種会議、委員会を通して職員に周知しつつ、連携医などへの医療機関訪問を増やして患者さんの紹介、逆紹介の依頼をお願いしていく。令和6年度は36件、令和7年度は12月末時点で95件の訪問を行っている。

(3) 現時点で基準を満たしていないものの、意向を示す理由

※厚生労働省が示す次の3類型に関連付けて、貴院の外来医療の実施状況等について御説明ください。

① 医療資源を重点的に活用する入院前後の外来（例 悪性腫瘍手術前後の外来）

- ・二次救急医療機関として、令和6年度は救急車を2,372台受け入れ1,094人の入院、令和7年度は12月末時点で救急車を1,673台受け入れ762人の入院を受け入れた実績がある。

② 高額等の医療機器・設備を必要とする外来（例 外来放射線治療）

- ・当院の放射線科ではPET/CTに力を入れており、東葛南部だけでなく松戸市など東葛北部からの医療機関からの依頼に対応している。
- ・当院の消化器内科は内視鏡診療を得意としており、最新のスコープ・光源を用いた

区分：基準×、意向○

正確な診断・治療の実績を有している。
 ③ 特定の領域に特化した機能を有する外来（例 紹介患者に対する外来）
 ・登録連携医が令和7年12月末時点で388名おり、専門的な医療を要さない外来患者さんには積極的に逆紹介を行っている。

（参考：貴院からの令和7年度報告値）

区分	医療資源を重点的に活用する外来 （紹介受診重点外来）の割合		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	60.4%	14.3%	67.2%	94.8%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来※	442日／6,419日	7,054日／134,437日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	2,090日／6,419日	11,446日／134,437日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	2,786日／6,419日	2,282日／134,437日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考水準

※「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」のうち、複数の外来を受診しており、且つ受診日が異なる場合は、重複して計上している。

区分：基準×、意向○

紹介受診重点医療機関に係る意向調査票

1 基本情報

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院
所在地	船橋市海神6-13-10

2 紹介受診重点外来に関する基準を満たす蓋然性等

(1) 今後基準を満たす蓋然性

○初診割合について

患者サポートセンターより、地域医療機関への訪問を積極的に行っており、連携体制を強化することによって、専門的医療、入院加療要する患者さんを増加させて基準値を満たすことが期待できる。

○再診割合について

当院では厚生労働省が掲げる「かかりつけ医・2人主治医制」を推進している。状態の安定した患者さんを積極的に逆紹介する事により、専門的医療を要さない外来患者さんの数を減少させる。また、外来患者数を減少させることにより医師の外来勤務負担を軽減させ、入院機能強化に繋げる。これにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を構築でき、今後重点外来医療を活用する患者さんを増加させることで基準値を満たすことが期待できる。

(2) 基準を満たすことが予想される時期やスケジュール（見込）

※基準を満たすことが見込まれる時期やそのための取り組みやスケジュールについて御記載ください。

○初診割合について

デジスマ診療（Web）による予約が口腔外科のみであり予約可能な診療科を拡充していく。（内視鏡、泌尿器等）

○再診割合について

令和4年度4月より「かかりつけ医・2人主治医制」の推進をおこなっており一定の成果が得られたが、今後はさらに推進を進めていく。

区分：基準×、意向○

(3) 現時点で基準を満たしていないものの、意向を示す理由

※厚生労働省が示す次の3類型に関連付けて、貴院の外来医療の実施状況等について御説明ください。

① 医療資源を重点的に活用する入院前後の外来（例 悪性腫瘍手術前後の外来）

下記の受け入れ体制からの入院前後の外来活用

- ・千葉県地域周産期母子医療センター、輪番制二次救急医療機関、10科目による入院受け入れ体制（特殊科目：血液内科・新生児科）
- ・急性期医療機関として令和6年度は新規入院患者6,483名、救急搬送受け入れ件数2,887件、全身麻酔手術件数1,187件の実績を有する。
- ・現在、常勤麻酔科医4名を中心に、周産期母子医療センターでは24時間手術が可能な体制をとっている。

② 高額等の医療機器・設備を必要とする外来（例 外来放射線治療）

- ・外来腫瘍化学療法診療料1の届け出を行っており、令和6年度は1,323件の外来化学療法を行った。
- ・放射線科を標榜し、常勤医師1名を配置している。CT装置2台、MRI装置1台、SPECT装置1台を有し、他の医療機関からの依頼にも対応している。

③ 特定の領域に特化した機能を有する外来（例 紹介患者に対する外来）

- ・患者サポートセンター（地域連携室部門による外来予約）を設置し、地域の医療機関とのスムーズな連携体制を構築している。
- ・特化した外来診療科目：産科・新生児科・血液内科・小児外科・消化器内科と外科の連携体制（内視鏡センター、消化器病センター）・歯科口腔外科

(参考：貴院からの令和7年度報告値)

区分	医療資源を重点的に活用する外来 (紹介受診重点外来)の割合		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	36.1%	19.6%	51.2%	79.2%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来※	496日 / 7,632日	9,940日 / 101,723日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	2,512日 / 7,632日	11,278日 / 101,723日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	2,655日 / 7,632日	2,450日 / 101,723日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考水準

※「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」のうち、複数の外来を受診しており、且つ受診日が異なる場合は、重複して計上している。

構想区域	医療機関名	初診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来の提供割合(%)	再診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来の提供割合(%)	紹介率(%)※	逆紹介率(%)※	協議類型
東葛南部	東京歯科大学市川総合病院	71.2	25.8	96.7	86.4	①
東葛南部	医療法人財団明理会行徳総合病院	41.7	28.6	36.7	16.9	②
東葛南部	医療法人社団聖進会市川東病院	34.6	18.4	17		④
東葛南部	医療法人社団嵐川大野中央病院	23.6	20.4	57.4	57.1	④
東葛南部	国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター	60.4	14.3	67.2	94.8	③
東葛南部	医療法人一条会(社団)一条会病院	51.2	19.7			④
東葛南部	医療法人社団平静会大村病院	15.3	8.9	26.7		④
東葛南部	医療法人友康会行徳中央病院		1.1			④
東葛南部	青山病院	6.7	0.2	7.3	13.1	④
東葛南部	医療法人社団紺整会船橋整形外科病院	28.8	42	73.9	116.8	④
東葛南部	医療法人社団睦会いけだ病院	3.3	3.3	11.4	7.2	④
東葛南部	医療法人社団協和会滝不動病院	28.8	6.5	9.2	13.5	④
東葛南部	医療法人成春会北習志野花輪病院	37.8	28	87.7	38.3	④
東葛南部	医療法人下総会薬園台リハビリテーション病院	3.8	2.1			④
東葛南部	医療法人徳洲会千葉徳洲会病院	47.1	32.9	34.6	41.3	①
東葛南部	医療法人社団嬉泉会大島記念嬉泉病院	16.9	85.8	28.1	37.2	④
東葛南部	医療法人愛の家高根台病院	2.2	2.2	0.5	17.2	④
東葛南部	医療法人社団誠馨会セコメディック病院	37	22.8	21.7		④
東葛南部	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院	27.4	76.6	50	146.8	④
東葛南部	船橋市立リハビリテーション病院	23.8	3.6	34.8		④
東葛南部	医療法人社団成和会山口病院	43.7	24.7	6.5	9.3	④
東葛南部	医療法人社団千葉秀心会東船橋病院	63.3	22.3	11	0.3	④
東葛南部	医療法人社団良知会共立習志野台病院	5.8	8.2	6.3	1.3	④
東葛南部	医療法人弘仁会板倉病院	26.4	11.8	12.1	21.9	④
東葛南部	船橋市立医療センター	71.2	31.6	75	113.9	①
東葛南部	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院	36.1	19.6	51.2	79.2	③
東葛南部	医療法人社団協友会船橋総合病院	26.1	29.1	11.9	10	④
東葛南部	社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院	65.9	25	76.7	101.3	①
東葛南部	社会医療法人社団菊田会習志野第一病院	28.7	14.5	12.4	13.3	④
東葛南部	医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院	21.9	2.4	100		④
東葛南部	医療法人社団保健会谷津保健病院	44.5	24.2	28.3	47.8	④
東葛南部	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院	42.6	32.1	27.3	27.2	②
東葛南部	東京女子医科大学附属八千代医療センター	46.7	26.4	59.4	46.1	①
東葛南部	医療法人社団永生会新八千代病院	18.3	6.4	20	35.7	④
東葛南部	医療法人社団碩成会島田台総合病院					④
東葛南部	一般社団法人巨樹の会八千代リハビリテーション病院	41.4	2.8	78.8		④
東葛南部	医療法人社団恵仁会セントマーガレット病院	43.9	24.3	31.6	14.7	④
東葛南部	医療法人思誠会勝田台病院		15.5	18.6	3.1	④
東葛南部	医療法人徳洲会鎌ヶ谷総合病院	37.4	32.9	24.3	20.6	④
東葛南部	医療法人社団東邦鎌谷病院				6.5	④
東葛南部	医療法人社団ますお会第2北総病院			12.1		④
東葛南部	医療法人社団一心会初富保健病院	59.5	7.4	120.9		④
東葛南部	医療法人梨香会秋元病院	33.7	1.9	25.5	23.6	④
東葛南部	順天堂大学医学部附属浦安病院	68.1	25.7	77.6	100.2	①
東葛南部	医療法人社団福秀会浦安高柳病院					④
東葛南部	医療法人社団康栄会浦安病院	16.2	8.1	12.4	2.9	④
東葛南部	医療法人社団やしの木会浦安中央病院	39.5	9.7			④
東葛南部	東京ベイ・浦安市川医療センター	58.3	31.8	77.4	105.3	①
東葛南部	国際医療福祉大学市川病院	33.1	22.1	35.3	19.5	④
東葛南部	タムス市川リハビリテーション病院	63.3	4.2	1.4	4.4	④
東葛南部	タムス浦安病院	53.6	2.9	67.2	45.3	④

構想区域	医療機関名	初診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来の提供割合 (%)	再診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来の提供割合 (%)	紹介率 (%)※	逆紹介率 (%)※	協議類型
東葛南部	医療法人友康会行徳中央クリニック	12.7	4.5			④
東葛南部	医療法人社団泰正会大町成光堂クリニック		4.9			④
東葛南部	医療法人社団三世会大高医院	15.6	6.6			④
東葛南部	医療法人社団瑞鶴会鶴木クリニック医科・歯科	94.7	27.7	95.7		②
東葛南部	医療法人社団高仁堂医院	16.3	4.2			④
東葛南部	医療法人社団吉岡産婦人科医院	18.7	3.2			④
東葛南部	医療法人社団陽南会くらもちレディースクリニック	44.7	24.6			④
東葛南部	医療法人社団邦和会船橋クリニック	48.8	18			④
東葛南部	医療法人社団みずたに会愛育レディースクリニック					④
東葛南部	医療法人社団励生会北原産婦人科	29	6.5	10.1		④
東葛南部	医療法人社団秀友会 松信ウィメンズクリニック・こどもクリニック	6.1	5.6			④
東葛南部	メディカルプラザ加瀬外科・加瀬眼科	18.6	5			④
東葛南部	医療法人社団前友会前田産婦人科	27.2	9.3			④
東葛南部	医療法人社団藤和会加藤眼科	6.8	3.9			④
東葛南部	鎌ヶ谷バースクリニック	21	19.1			④
東葛南部	医療法人社団 佐野産婦人科	13.7	12.5			④
東葛南部	医療法人社団愛賛会おしおウィメンズクリニック	14.5	7.6			④
東葛南部	医療法人社団隼整会新浦安整形外科	13.8	3.1			④
東葛南部	医療法人真温会 八千代有床診療所	13.7	2.4			④
東葛南部	医療法人社団晴山会ROSEGARDENクリニック					④
東葛南部	医療法人社団INNOCENT えんぴつ公園マザーズクリニック	11.8	9.7			④
東葛南部	医療法人社団康進会加藤整形外科	6.6				④
東葛南部	医療法人社団マザー・キーファミリー産院いちかわ	22.1	8.9			④
東葛南部	医療法人社団小羊会船橋訪問クリニック	31.3	94.4			④
東葛南部	医療法人社団マザー・キーファミリー産院つだぬま	24.2	7.5			④
東葛南部	医療法人社団マザー・キー ファミール産院ふなばし			0.7		④

※紹介率が空欄となっている施設について

有床診療所については、紹介率・逆紹介率は必須回答ではないため、空欄となっている施設があります。
その他の施設においても、一部の報告内容に欠損があることから、空欄となっている施設があります。

※厚生労働省から確定したデータが提供され次第、県ホームページに確定版を掲載します。